



平成 24 年 9 月 28 日 第 2 巻(第 25 号)

発行： 東京都新宿区住吉町 8-20 四谷チンゴビル 2F

災害対策本部 TEL (03)3351-5038

FAX (03)5366-1058

mail: dsstsw@jaswhs.or.jp

## 目次

1. 災害対策本部からのお知らせ
2. 現地支援活動報告
3. 現地感想文
4. 事務所感想文



上毛カルタ：㊦き（滝）は吹割 片品溪谷

（群馬県沼田市利根町）

## 災害対策本部からのお知らせ

### 【1. 協力員募集】

#### ●●● 現 地

現地の業務状況を鑑み、当面は制限なく受入を行います。

中 3 日以上・なるべく平日の活動が理想的ですが、具体的な日程については、災害対策本部までお気軽にご相談ください。

\*\*\*10 月もまだまだ空いております。特に 10 月下旬はまだ参加予定がありません。

ご都合の付く方、ご協力をお待ちしております！

#### ●●● 事務所

引き続き募集しております。

平日のみの活動ですが 1～2 ヶ月に 1 回でも構いません。ご協力をお願い致します。

### 【2. 災害対策本部会議】

次回は 10 月 6 日(土)18:00～ 協会事務所にて開催します。

ご意見や検討事項がありましたら、10/3(水)までに災害対策本部まで、電話やメールでお寄せください。

### 【3.書籍販売】

『東日本大震災医療ソーシャルワーカーの支援のバトン1』の販売を行っています。

発災から昨年9月30日までの石巻・仙台・大槌町・事務所・災害対策本部の活動の記録をまとめました。ぜひご覧になってください。尚、売上金の全額を皆様からの寄付として、本活動の資金に充てさせていただきます。

※ご注文は注文用紙で承ります。



●●●注文用紙はホームページからダウンロードできます。

[http://www.jaswhs.or.jp/date/publishing\\_detail.php?@DB\\_ID@=45](http://www.jaswhs.or.jp/date/publishing_detail.php?@DB_ID@=45)

### 【4.facebook】



facebookでも情報をお伝えしています。現地や災害対策本部の日々の様子をお伝えしています。応援よろしくお願いたします。

●●●URL

<http://ja-jp.facebook.com/pages/公益財団法人日本医療社会福祉協会-災害対策本部/156327867812970>

### 【5.YouTube】

現地での災害支援活動の様子を前事務所担当の一原さんがVTRにまとめて下さいました。YouTubeにアップしましたので、是非ご覧ください。「医療ソーシャルワーカー災害支援」で検索すると見つかります。



●●●URL

<http://www.youtube.com/watch?v=vn34I9h5rJ4&feature=youtu.be>

## 【6.現地・事務所職員募集】

災害対策本部では現地・事務所職員を随時募集しています。  
災害支援に関心のある方からのご応募をお待ちしております。  
または周りでご興味のある方がいらっしゃいましたら、是非ご紹介ください。



婦恋・鹿沢ゆり園（群馬県吾妻郡婦恋村）

### ●●●①現地常駐者(短期契約職員)

- ・就業場所：宮城県石巻市大街道北
- ・就業時間：9～17時  
※業務の関係で残業あり。
- ・休日：土曜・日曜・祝日・年末年始
- ・基本給 250,000 円/月
- ・通勤費実費支給
- ・社会保険加入
- ・医療ソーシャルワーカー業務経験必須
- ・長期の方優遇。月単位でも応相談。

### ●●●②災害対策本部事務所担当(パート職員)

- ・就業場所：協会事務局内
- ・就業時間：週3日程度 10～17時  
※業務の関係で残業あり。  
※頻度・時間は応相談。
- ・休日：土曜・日曜・祝日・年末年始
- ・時給 900 円～ 通勤費は実費支給
- ・経験不問。医療ソーシャルワーカー業務経験者優遇

ご応募の方は下記宛に履歴書をお送りください。面接にて決定させていただきます。  
または災害対策本部までお気軽にお問い合わせください。

### ●●●お問い合わせ

住所：〒162-0065 東京都新宿区住吉町 8-20 四谷チンゴビル  
電話：03-5366-1057  
担当：笹岡・中川

## ●●●現地支援活動報告

活動期間：2012年9月8日～9月10日

谷口 桃代（神奈川県 横浜市立大学附属病院）

在宅避難世帯支援で介入が必要な方へ、電話連絡と訪問をさせて頂きました。石巻市に到着した時は、店や車も多く、活気がある印象を受けましたが、対応した方の話から震災の影響が続いていることを伺い知ることが出来ました。また、そのような中でも、震災での経験を活かして生活をされていたり、仮設住宅の中で工夫して生活されていたりする様子に力強さを感じることも出来ました。特に「支援物資はいらない、地域住民同士が繋がりを持てるような支援が必要」とおっしゃられた話が印象的でした。今年度で在宅避難世帯支援が終了することもあり、地域の方の強みを生かした支援が必要であることを感じました。

3日間の活動で協力員としてできこととは何かを考え過ぎましたが、震災から1年半経った“今”、住民の方が求めていることを教えて頂き、ソーシャルワーカーとしてできることを考えること、またその時々で協力員が変わっても継続した支援ができるよう健康・生活復興協議会や日本医療社会福祉協会としての信頼関係を築き、繋いでいくことだと思いました。

最後に、丁寧にサポートしてくださった現地職員の方、事務所職員の方、ありがとうございました。

### <参加を検討されている方へのメッセージ>

是非参加されることをお勧めします。現地職員の方が丁寧にサポートしてくださるので安心して活動できると思います。

活動期間：2012年9月10日～9月12日

秋本 みゆき（大阪府 千里中央病院）

昨年5月にも参加させていただいたこともあり、石巻市の様子の変化を実感しました。前回の活動内容とかなり変化しており、やはり最初は何をしたらよいのか、戸惑うこともありましたが、全体的な活動が見えてくることによって、やるべきことも分かってきたように思います。ソーシャルワーカーとしての視点で考え、行動ができることは、とても貴重な経験になりましたし、その動きが”つながり”を感じる事が出来ました。

さすがに、2,3日で継続性の必要な困難ケースを担当することは難しいかもしれませんが、現地で頑張っておられるソーシャルワーカーの方々の少しでもお手伝いできればと思います。

### <参加を検討している方へのメッセージ>

百聞は一見にしかず！ 必ず自分の経験に役立ちます。

活動期間：2012年9月15日～9月17日

筒井 万紀子 (神奈川県 戸塚共立リハビリテーション病院)

---

今回で医療ソーシャルワーカーとしては、4回目の参加となりました。

今回は、石巻復興生活協議会の事務所を中心とし、電話や訪問にて、在宅生活を送られている方々の支援を行いました。

前回までは、電話での支援が多かったのですが、今回は実際に自宅まで訪問させて頂き、支援を行うことが出来たため、生活の中でご本人やご自宅の様子を確認することが出来ました。

ご相談の内容が、就労問題など震災を直接的な原因としたものだけでなく、在宅介護や身近な方の死など、徐々に日常生活から生まれる問題へと移ってきているように感じました。それには、適切な専門機関へと繋げられたことなどの理由も勿論あると思いますが、被災地の方々が少しずつ生活を取り戻しつつあるのではないのかなと感じました。被災地での状況の変化に合わせ、支援方法も少しずつ変えていく必要があると感じました。

最後になりましたが、医療ソーシャルワーカーの方々だけに留まらず、カウンセラーや看護師等、現地と一緒に活動させて頂いた方々や現地で活動行う際に調整して下さっている方々のおかげで、このような貴重な経験をさせて頂き、感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

<参加を検討している方へのメッセージ>

現地では、全国各地の医療ソーシャルワーカーの方々だけでなく、多職種の方々と活動を行えるので、様々な価値観に触れることが出来、とても良い刺激となります。

## ●●●現地感想文

### ●●●9/18 依光則子（現地担当）

1期ケースでソーシャルワーカーへの依頼は約750件、そのうち今も継続中のケースが、そろそろ100件を切ります。が、以前ソーシャルワーカーとしては対応を終えたケースや、見守り区分のケースから再対応の依頼がぽつぽつと。また、2期ケースも含め、最初の区分判定で自立サポートが入らなくても、先に関わっていた他職種から依頼され、協働して動くケースもままあります。

協議会の在宅調査はこの10月で終了。でもフォロー対応は続きます。

### ●●●9/19 石田潔（北海道 小樽中央病院）

今回、9月15日から9月18日の日程で、石巻での支援活動に参加させていただきました。昨年6月から、今回で3回目の活動参加です。

昨年6月の避難所における支援活動とは違う、地域で生活をされている人々への支援は、災害から1年半を経過した今、新たに表出する生活課題や心的外傷に対応するために、正に必要であるとともに、ミクロからマクロへ統合的に展開するソーシャルワークの奥深さを改めて実感しています。

本年中にまた石巻でお手伝いをできればと考えております。現地責任者の皆様にも、大変お世話になりました。これからのご活躍を祈念しております。

### ●●●9/20 依光則子（現地担当）

健康生活復興協議会の連携ボランティア団体で見守り担当のKちゃんが、石巻を離れるというので有志で飲み会へ。協議会にはボランティア団体出身者も多く、その志や連携・内情が話題に。メンバーは皆熱くてイイ奴なのに、運営がうまくまわらず変な雰囲気になるとか、とにかくお金がなくて疲れてしまう人も多いとか…。

発災後の5月から走り続け、あったかい人柄で周りの皆から頼られてきたKちゃんも、この辺で一度気持ちをリセットしたいそう。でもまたすぐ体制を整えて石巻に戻り、今度は就職して活動継続するそうです。

彼女のまっすぐでぶれない生き方から、熱い思いをもらいました。

### ●●●9/21 久保木美由紀（現地担当）

石巻は昨日より気温が下がり、だいぶ過ごしやすくなりました。

復興協議会内では、次期の活動の在り方に向けて話が煮詰まりつつあります。

●●●9/22 山内瞳（愛媛県 四国がんセンター）

今回初めて支援活動に参加させて頂きました。

震災から1年半たち、必要とされているニーズと支援の在り方が変わってきていることを感じました。大変勉強になりました。

また、震災の傷跡の残る中で懸命に生活されている市民の方々と接することで、自分の仕事の役割について改めて考えることが出来ました。貴重な機会を頂いたことを心より感謝しております。

現地担当の皆様にも大変お世話になりました。ありがとうございました。

（活動期間：9月17日～21日）

●●●事務所感想文

---

早いものでもう10月です。10月は現地での参加枠もまだまだ空いております。皆様のご参加をお待ちしております！

9/24 災害対策本部事務所 三輪 清子

---

東日本大震災 MSW 災害支援ニュース  
平成24年9月28日 第2巻25号  
作成 群馬県医療ソーシャルワーカー協会